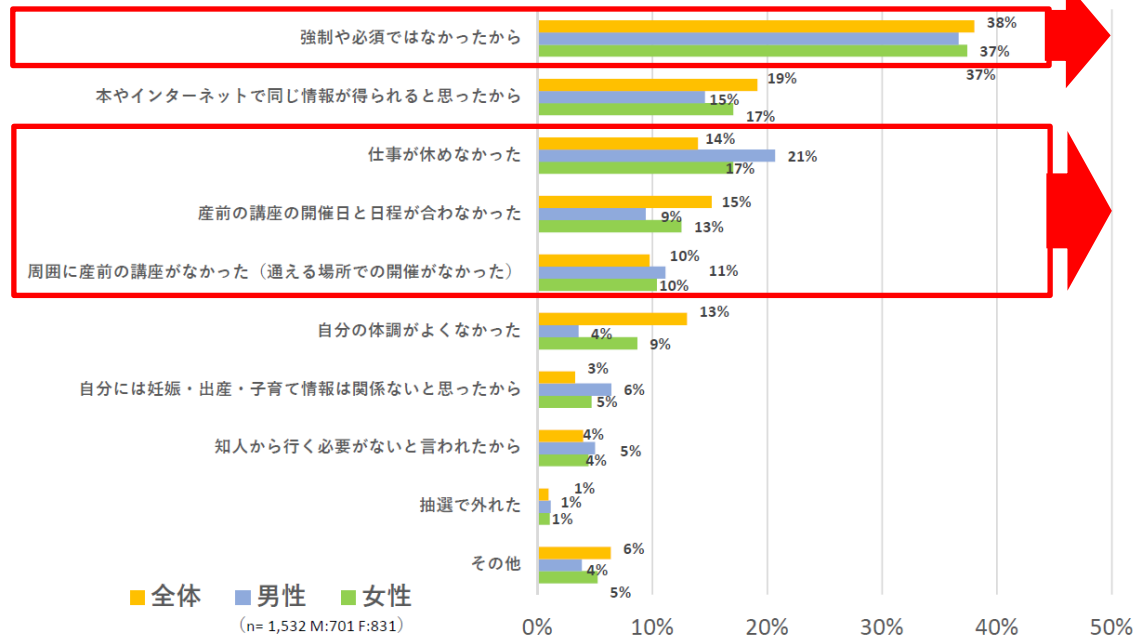




参考調査①

夫婦で仕事と子育ての両立スタート期に必要な産前講座への参加には、「仕事との調整」、「受講場所・時間の柔軟性」、「受講の後押し」が必要

産前の講座へ参加しなかった理由 (Q13)



NPO法人ファザリング・ジャパン 産前講座に関する全国調査

- ①勤務先が主催
- ②受講者指名で後押し
- ③オンラインで実施  
で参加可能性が上がる

病院・自治体主催の産前講座内容トップ10は「出産」「赤ちゃんの世話」に偏向  
産後困ったランキングに「子育てが母親だけに偏った」が男女ともトップ10入り



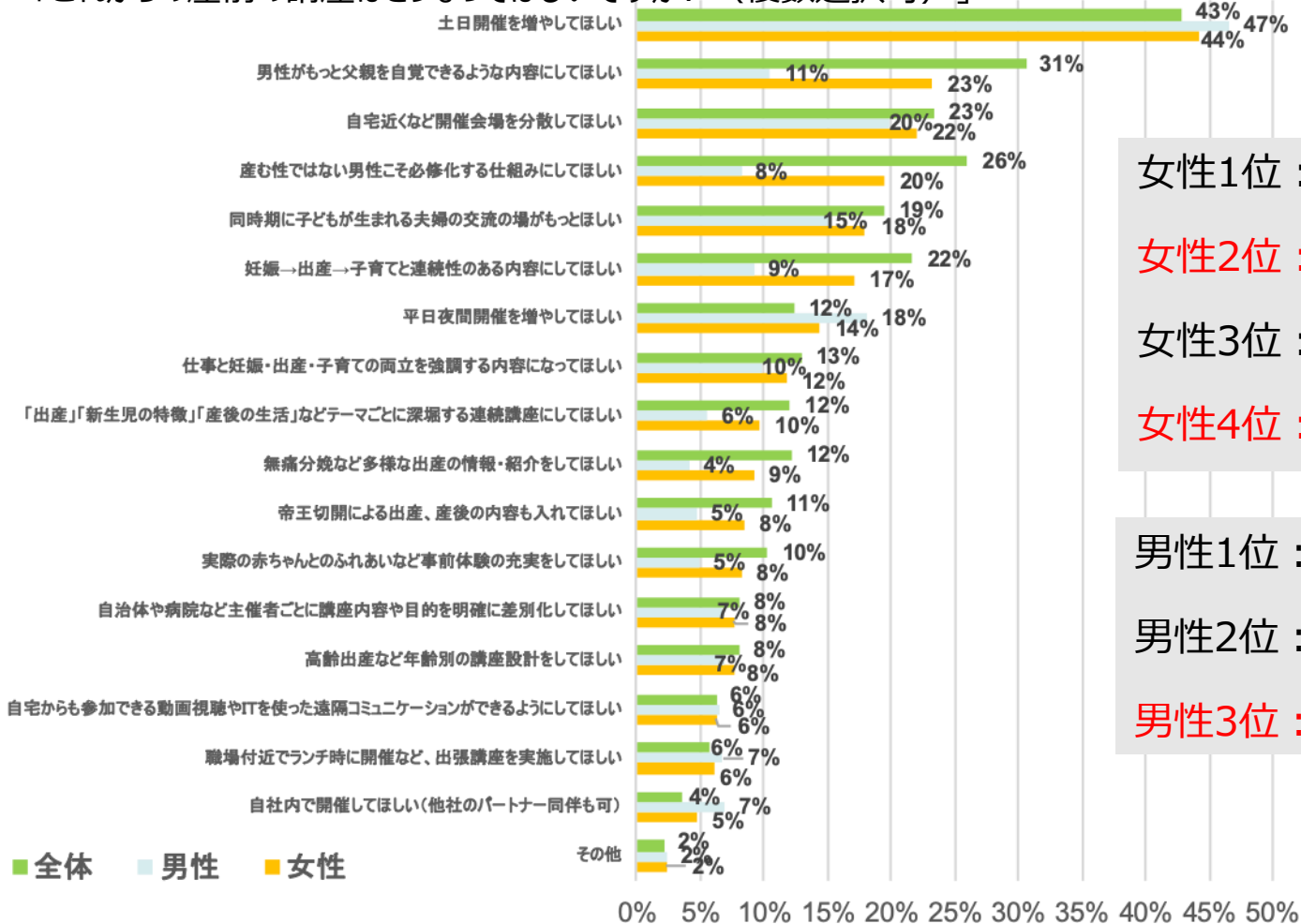
現在の「病院」・「自治体」の産前講座では産後の困ったに対応できず!?  
令和時代は、「企業」実施で、より「夫婦向け」「父親向け」にアップデートすべき!



参考調査②

働いているプレパパ・プレママが多い令和時代では、産前講座を平日働いている職場で受講できる環境整備が必要

「これからの産前の講座はどうなってほしいですか？（複数選択可）」



女性1位：「土日開催」44%

女性2位：「父親の自覚」23%

女性3位：「会場」22%

女性4位：「男性必修化」20%

男性1位：「土日開催」47%

男性2位：「会場」20%

男性3位：「平日夜」18%



参考調査③

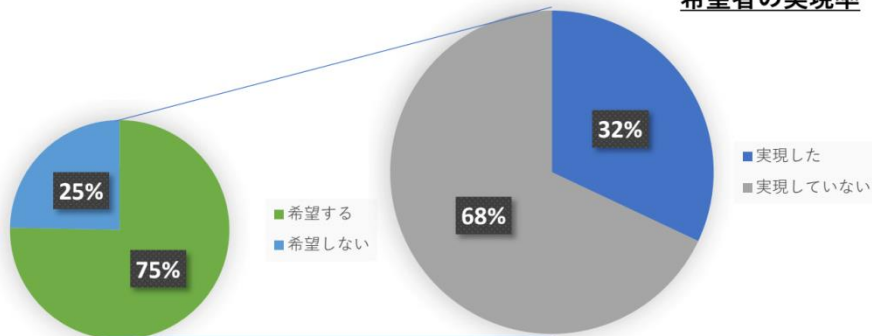
コロナ禍で病院関連の「妊婦健診の同伴」「両親学級」「立ち合い出産」「入院中の面会」中止が相次いでおり、子育てを夫婦でスタートする機会を著しく損なっている環境。この機会の1つを勤務先でも提供できないか。

「あなたが、あなたの(あなたのパートナーの)第一子妊娠期間中に  
 ・「希望」しているもの(していたもの)をすべて回答ください ・「実現」できそうなもの(できたもの)をすべて回答ください」

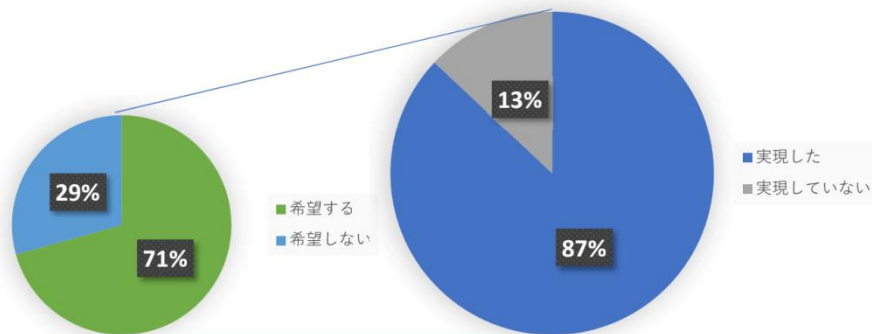
妊婦健診にパートナーや家族の同伴

希望者の実現率

コロナ禍出産



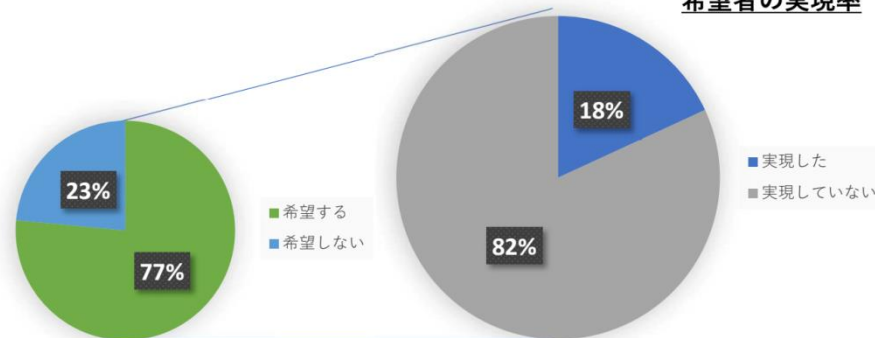
コロナ前出産



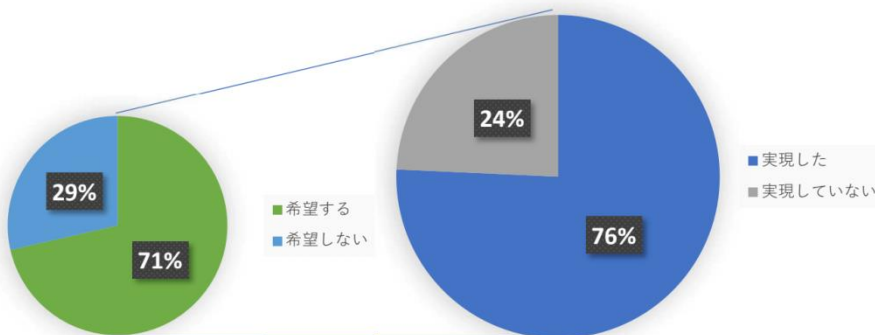
病院・産院等の両親学級等を受講

希望者の実現率

コロナ禍出産



コロナ前出産





①働いているプレパパ・プレママが多い令和時代では勤務先やオンライン受講できる環境整備が必要



②病院・自治体のコンテンツとは異なる「夫婦」「父親」向けにアップデートしたものを企業では推奨すべき



③自治体や病院の両親学級の多くは延期・中止、県をまたいだ移動も制限され実家のサポートも受けられない状況で妊婦・母親は孤立化の傾向。最後の砦である夫が家庭内で機能するように、夫の産前講座受講はより必要に。



④男性育休推進企業は、育休ライフの効果을上げるため、アップデートした産前講座の受講を必須に



コロナ禍でも産前産後を乗り切れるよう  
今の時代にアップデートされた**新しい両親学級を**  
FJと一緒に**企業内で推進しませんか**